

公益社団法人 私立大学情報教育協会
2022 年度第 2 回 栄養・医療系グループ分野連携合同会議
議事概要
(栄養学、薬学、医学、歯学、看護学、リハビリテーション学)

I. 日時 : 令和 4 年 10 月 27 日(木) 17:00~18:30

II. 場所 : ZOOM 会議室

III. 出席者: 21 名

(栄養学)原島委員長、由良委員、服部委員 (薬学)黒澤委員長、西村委員、大嶋委員、徳山委員
(医学)高松委員長、椎橋委員、渡辺委員 (歯学)神原委員長、片岡委員、藤井委員、奥村委員、花田委員、
辻林委員、森實アドバイザー (看護学)中山委員、丸山委員 (情報専門教育分科会)大原主査、(データ
サイエンス教育分科会)渡辺主査
事務局:井端事務局長、山田、中村職員

IV. 議事の経過

黒澤委員長(薬学分野)の議事進行により、分野連携アクティブ・ラーニング対話集会の具体的な開催内容について、①開催趣旨、②話題提供、③意見交流の確認、および事前アンケートの内容と対話集会の具体的な進め方について委員の役割分担を含め検討を行い、以下のとおり決定した。

1. 開催趣旨

対話集会では、開催要項のとおり ICT を活用した学びの個別最適化への取組み、対面と遠隔を効果的に組み合わせ合わせたハイブリッド授業や PBL の取組みを如何にデザインし、問題発見・課題設定解決型教育を推進していくべきか、学修環境も含めて探求し、改革行動につなげていく場とすることを確認した。

2. 話題提供内容と提供者

① 栄養学分野

話題提供者: 中京学院大学短期大学部健康栄養学科准教授 由良 亮 氏

タイトル:「発言者を匿名にすることで、対話型双方向授業を活性化する試み」

内容: 双方向授業を実施しようとしても、学生間でアクティビティに大きな格差が生まれ、一方通行的になりつつある現状を転嫁すべく、発言をテキストメッセージで送るようにし、その発言を匿名化して共有する方法を実践したところ、普段発言しない学生の発言も促すことができ、多くの質問・意見を得ることに成功した双方向授業の活性化を実現した授業改善の取組みを紹介する。

② 薬学分野

話題提供者: 慶應義塾大学薬学部准教授 石川さと子 氏

タイトル:「コロナ禍における薬学部での遠隔授業への対応と学生の反応」

内容: 教員には遠隔授業の授業構成の準備と配信教材の作成、学生への周知方法などの情報提供と LMS 等による遠隔授業の準備講習会を実施した。学生には特に新生に対して薬学部との繋がりを意識できるように実施した Web 経由でのオンラインクラス会、授業を通じた支援などの取組みを、当時行った学生アンケートの結果と併せて話題提供スル。

③ 看護学分野

話題提供者: 東京慈恵会医科大学医学部看護学科准教授 永吉美智枝 氏

タイトル:「小児看護学のシミュレーション教育における VR の効果的活用の試み」

内容: 学生がリアルに子どもと家族の状況や小児病棟内の環境、医療スタッフの関わりをイメージし、看護実践を自主的に考えることができる教育方法として、VR 技術(仮想現実)を活用したシミュレーション教材を開発して 2022 年度より演習に導入した。学生からは、子ども目線の体験により、状況のイメージが深まり理解に繋がったとの意見が多く、学修効果が見られたことから、VR 演習を講義と看護実践と連動させることによる教育改善の可能性を紹介する。

④ 医学分野

話題提供者：埼玉医科大学医学部 IRセンター教授 椎橋実智男 氏

タイトル：「フルオンラインによる生理学実習の試み」

内容：Zoom 及び google slides を用いたフルオンラインで、グループ活動に重点を置いた生理学実習(神経の活動電位)を実施した。実験前に zoom のブレイクアウトルーム機能及び google slides を活用して実験結果を予測させ、その結果を教員に説明させます。実験後も両ツールを活用してデータ整理を行い、実験結果を教員に報告させるとともに、グループ間で振り返りを行うことにより、対面の実習と同じように理解を深めることができた授業改善の工夫を紹介する。

⑤ 歯学分野

話題提供者：大阪歯科大学歯学部生化学講座教授 池尾 隆 氏

タイトル：「チーム基盤型学修(TBL)とグループワークを組み合わせた反転授業の取組み」

内容：自己主導型学修力の涵養、協働力や省察的な態度を育成するため、3年歯科栄養学(7回)を全て反転授業とし、TBL では協働による知識獲得・定着のための準備確認問題と知識構築に焦点をあてた応用問題を演習し、症例検討のグループワークでは栄養アセスメントを実施した。さらにミニッツペーパー提出とフィードバックを行い、全授業終了時に学びの改善策を記したポートフォリオを作成させることで、知識の獲得と協働力、省察力を向上した授業改善を紹介する。

⑥ 医学・歯学・薬学・看護学・健康医療科学・栄養学・情報コミュニケーション学分野連携

話題提供者：昭和大学歯学部歯科医学教育推進室主任教授 片岡竜太 氏

タイトル：「各専門領域を超えた分野横断型遠隔授業の実践」

内容：問題解決力養成を目標とした分野横断型の遠隔授業を実施するため、医療・福祉・栄養・情報コミュニケーション7分野の学生がZoom によるテレビ会議とLINE で意見交換し、「コロナ禍時代の持続可能な医療・健康生活を考える」をテーマに5回の分野横断型遠隔授業を実施した。命や生活を守る医療、健康増進を実現するために各分野で対応すべき課題と対応策、解決策の発表と講評・振り返りを行った結果について、通常の授業では経験できない体験の成果と問題点を報告する。

3. 意見交流

以下の項目について意見交流を行うことを確認した

- ① ICTによる学びの個別最適化の工夫、ハイブリッドによる学修の質・効果を高める授業(反転授業 PBL 等)の工夫と課題
- ② ハイブリッドな学修プラットフォームに必要な機能の強化対策、授業価値の最大化に向けたFD対策の在り方
- ③ ネット上で多分野の知識を組み合わせ、知の創造を訓練する実験授業のニーズ
- ④ PBLで獲得する思考力等の点検・評価・助言モデル構想の実現可能性

4. 事前アンケートの内容

意見交流では、申込者から提出された以下の項目のアンケート結果を運営に役立てることを確認した。

- ・学修者の学びの個別最適化に向けて配慮している取組みについて
- ・遠隔授業の状況と学修評価の方法、不正防止対策、学生側の課題について
- ・問題発見・課題解決型教育(PBL)の導入理由について
- ・「対面と遠隔を効果的に組み合わせるPBL」の工夫と課題について
- ・「対面と遠隔を組み合わせた授業全体の学修プラットフォーム」に求められる機能について

5. 対話集会における運営検討と役割分担

対話集会は予定通り令和5年1月21日(土)13:00~17:00、オンラインにて開催し、対話集会における進行役委員を各分野から選出し、事前に運営打合せを行うことを確認した。